

## 編集後記

『中国21』創刊号をお届けする。

現代中国学部は、103名の日本人学生と26名の外国人留学生を第一期生として、四月に正式スタートした。それにもない、『中国21』の編集は、新学部内に設けられた現代中国学会が担当することになった。新学部発足に際して、解決すべき課題は山積している。特に外国人留学生の受入れに関して、法務省入国管理局が専門学校から大学への進学条件を厳しくしたことが、各大学に波紋を呼んでいる。

### ◆原稿募集◆

『中国21』は、新しい発想から現代中国をめぐる諸問題に切り込む、鋭敏の論考を広く募集いたします。現代中国に関するテーマであれば、そのジャンルは問いません。むしろ、既存の学問のジャンルを打ち破るような斬新な発想を期待いたします。募集の要領は左記の通りです。

- ① 現代中国に関する論文、エッセイ（他雑誌に掲載済、掲載予定のものを除く）。
- ② 四〇〇字語原稿用紙換算六〇枚以内（四回までの分載可）。エッセイは同一〇枚以内。
- ③ 打ち出し原稿と合わせてテキスト・ファイル化したフロッピーを添付のこと。

### ◆表紙デザイン募集◆

『中国21』の表紙デザインに用いる絵画・写真を募集いたします。中国に関するものでしたら、その画風や内容は問いません。絵画については作品のカラー写真を、写真についてはプリントを御送付下さい。送付先 〒四七〇一〇二 愛知県西加茂郡三好町黒笹三七〇 愛知大学現代中国学会

\*採用にあたっては薄謝を贈呈します。

なお、応募された原稿及びカラー写真等は、採否に関わらず返却いたしません。

☎(〇五六)三六一一一 (内線八五五八)

私たちの学部の留学生の一部も、その影響からビザ再発行のための一時帰国を余儀なくされた。速やかな問題の改善が必要であろう。今後はこうした情報についても、『中国21』を通じて積極的に発信していきたいと考える。

創刊準備号はおおむね好評をもって迎えられた。激励の言葉も少なくなかった。そこで出された、息抜きの場所もほしいという意見を考慮して、本号より「天南地北」というエッセイ・コーナーを新たに設ける。学生から企業、マスコミの方々にいたるまで、中国とのさまざまな出会いについて論じていただく

のねらいである。また、論説・研究ノートについても、一般原稿の募集を始めた。それによって私たちは、潜在的な優れた書き手に出会いたいと思っている。

最後に、学会と出版社の双方に対して、創刊号の進捗状況をお問い合わせくださった多くの方々、発刊の遅延について深くお詫びしたい。十一月発行予定の次号は、日中戦争をめぐる諸問題の特集テーマとする予定である。(緒形 康)

愛知大学現代中国学部ホームページアドレス  
<http://chinaaichi-u.ac.jp>

## 中国21 創刊号

一九九七年九月十五日発行

編集 発行 愛知大学現代中国学会

愛知県西加茂郡三好町黒笹三七〇  
電話(〇五六)三六一一一

発売 風 媒 社

名古屋市中区上前津二一九一四

久野ビル  
電話(〇五)三三三一一〇〇〇八

印刷 制作 (株) あ る む

名古屋市中区千代田三一一一二  
電話(〇五)三三三一一〇八六一